

第1学年 英語科 学習指導案

学校名 東大阪市立 盾津中学校
授業者 河上 奈津希

1. 日時 令和7年12月10日(水) 第5限 13:20~14:10

2. 場所 1年2組 教室

3. 学年・組 1年2組 38名

4. 単元名 Lesson8 Discover Japan (使用図書:三省堂)

5. 単元の目標

- 一般動詞の過去形 be 動詞の過去形や過去進行形の肯定文の特徴やきまりを理解する。be 動詞の過去形や過去進行形を含む、その他既習事項を用いて、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができる。[知識及び技能]
- コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、事実や自分の考えを表現し、聞き手に分かりやすく伝えることができる。[思考力、判断力、表現力等]
- 聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。[学びに向かう力、人間性等]

6. 教材観

本単元では、ケイトのブログや会話文を通して、日本で訪れた場所や体験したことについて関心を高め、今年1番思い出に残ったできごとについて考える。言語材料として、be 動詞の過去形や過去進行形を扱うため、既習事項である過去形や現在進行形と関連付けながら学習させることで、文構造の違いに気づくことができると期待される。また、本単元のパフォーマンス課題として、「今年1番思い出に残ったできごと」についてALTに伝える活動を設定する。本単元を学習する前段階で実施した、パフォーマンス課題「My Hero ~自分の推しを紹介しよう~」よりも難易度を上げ、ALTに伝えることで、相手意識をもって書く・話す活動を大切にしていく。

本題材は、パフォーマンス課題に向けて、最終調整の学習活動である。ケイトの「今年1番の思い出」から、ケイトの思いや感じたことを理解した上で、自分自身にふりかえり、「今年1番の思い出」について、グループ内で発表し、パフォーマンス課題に向けてアドバイス等を行う機会を設定する。最終課題の前段階で、グループ活動を組み込むことで、自分の考えや気持ちを相手に伝える力を育むことをねらいとしている。

7. 指導観

生徒はこれまでにパフォーマンス課題として「My Hero ~自分の推しを紹介しよう~」に取り組んでおり、ルブリックを参考に、canを用いて自分の推しの魅力を書きあげ、グループ内で紹介し、発表者の良かったところなど伝え合う活動ができた。また、既習事項を用いてペア同士で表現するSmall Talkや、問題プリントを用いて、学習した文法事項を使って書く活動を設定している。個人差はあるものの、どの取り組みにおいても意欲的に挑戦しようとする姿勢を持っている。しかし英文を書くことや、話すことに対して抵抗感がある生徒が多く、書いてみたい、伝えたいと思える課題の提示や、絵や音声、導入の工夫なども大切にしながら、授業に取り組んでいる。

本単元のゴール設定は、ALTに「今年1番思い出に残ったできごと」について伝えることである。このようなパフォーマンス課題を行う際には、何のための活動なのか、伝える相手を明確にした上で相手意識を高めながら活動に取り組ませる必要がある。単元全体を通して、「聞き手に思いを伝えること」をテーマとし、聞き手が興味関心をもてるよう、いつ・どこで・何をした(具体的に)・考えや感想を効果的に「書くこと」の指導を図っていきたい。また子どもの主体性を高めるため、教師側が一方向的にめあてだけを与えるのではなく、毎時間の授業の課題に対して、授業初めに自分の目標を立てる時間を設定する。授業の終わりにはその目標が達成できたかをふりかえり、できたこと、できなかったこと、次に頑張ることを書くことで、次の授業につなげ、単元全体に目的意識をもって取り組むことができるようにする。さらには、Small Talkを通して知識の定着、不規則動詞については、形や意味の定着を図るために帯活動で単語カードを用いて視覚的な補助を行いながら、楽しく学習を進めることができるよう仕組んでいく。

指導にあたって、英語を苦手としている生徒も多いため、教師のモデル文を掲示し、課題に取り組むことができるようにする。グループで交流後、ALTに向けて発表、簡単な英語の質問に答えることを伝え、見通しをもたせて活動を進めていく。グループ内の発表時には、「伝えたいことが伝わっているか」など、聞く側にも視点を与え、グループ内での活動がより深まるようにしていきたい。

8. 単元と特につながりのある“中学校区におけるつきたい力”

つきたい力	自分を受け入れ行動する力	他者を理解しつながる力	なかまと課題を見つける力
学習活動	グループからのアドバイスを 受け、パフォーマンステスト に向けて、さらに良いものに するために工夫をする。	相手が話をしていることについて 心をもって反応や理解を示して聞い ている。褒め合うなどよかった点や アドバイスも積極的に行っている。	パフォーマンステストに向け て理解しやすい表現や内容を グループ内で伝え方や書き方 の工夫を考えている。

9. 単元の評価規準

- 一般動詞の過去形 be 動詞の過去形や過去進行形の肯定文の特徴やきまりを理解している。自分が印象に残ったことを、be 動詞の過去形や過去進行形を含む、その他既習事項を用いて書く技能を身に付けている。[知識・技能]
- 一般動詞の過去形 be 動詞の過去形や過去進行形を含む文章を用いて、「今年の1番思い出に残ったできごと」について、事実や自分の考えなど、相手に分かりやすく伝える工夫をし、英語で適切に伝えている。[思考・判断・表現]
- 「自分の今年1番の自分の思い出」について練習を重ね、相手に理解しやすい英語表現で伝えようと工夫している。相手意識をもって理解しやすい表現や内容、工夫を考えている。[主体的に学習に取り組む態度]

10. 単元の指導と評価の計画（全10時間）

時	学習内容	主な評価規準【観点】
第1時	<ul style="list-style-type: none"> ● 動画や資料から内容を理解し、パフォーマンス課題について見通しをもつ。 ● be 動詞の過去形の文の構造、特徴やきまりを理解する。 	過去形の文の構造の確認と be 動詞過去形の文の構造や語法や、きまりを理解している。[知識・技能]
第2時	<ul style="list-style-type: none"> ● ケイトの旅行の思い出の文章を読み、内容や文章の構造を理解する。 ● 「昨日したこと」についての日記を書き、会話をする。 	「昨日したこと」についての日記を書き、ペアで Small Talk をしている。[思考・判断・表現]
第3時	<ul style="list-style-type: none"> ● 過去進行形を用いた文の構造特徴や、きまりを理解する。 	過去形と過去進行形の時系列の違い、過去進行形の文の構造や語法に関するきまりを理解している。[知識・技能]
第4時	<ul style="list-style-type: none"> ● ケイトの旅行の思い出についての健との会話文を読み、内容や文章の構造を理解する。 ● 「昨日の昼休みに何をしていたか」を書き、会話をする。 	「昨日の昼休みに何をしていたか」についての日記を書き、ペアで Small Talk をしている。[思考・判断・表現]
第5時	<ul style="list-style-type: none"> ● ケイトが日本に来て今年1番の思い出について書かれたブログの記事の全体を読み、記事の概要をとらえる。 	ケイトのブログの記事を読んで、訪れた場所やしたこと の概要、気持ちや感想を盛り込んだブログの書き方や構 成を理解している。[思考・判断・表現]
第6時	<ul style="list-style-type: none"> ● 記事の概要を表にまとめる。 ● ケイトのブログに、感想や質問などのコメントを書く。 	表をまとめ、「いつ→どこで→何をした→もっと詳しく」を意識してとらえている。[思考・判断・表現]
第7時	<ul style="list-style-type: none"> ● ケイトのブログ、教師のモデル文を参考に「今年一番の思い出の日記」の英文の作成するための素地を作る。 	ロイロノートで今年一番の思い出として自分が経験した ことの実事や自分の考えを整理している。[知識・技能] 相手が理解しやすい表現や内容を書き方の工夫や推敲し ている。[主体的に学習に取り組む態度]
第8時 本時	<ul style="list-style-type: none"> ● 「今年一番の思い出の日記」の英文を書き、ロイロノートに提出する。 	「今年一番の思い出の日記」について一般動詞の過去 形を用いて、表現している。[知識・技能]
第9時	<ul style="list-style-type: none"> ● 「今年一番の思い出」の英文の内容や構成を、グループで発表・推敲し、ALTに向けて発表できるように完成させる。 	自分の伝えたいことが伝わるよう、表現や内容をグルー プ内で伝え方の工夫を考えている。[主体的に学習に取り組 む態度]
第10時	<ul style="list-style-type: none"> ● パフォーマンステストを行う。 	ALTに「今年一番の思い出」について発表する。[思 考・判断・表現]

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ◎ 一般動詞の過去形や be 動詞の過去形を用いて、過去の出来事を表現し「今年の1番の思い出」について書くことができる。

(2) 本時の評価規準

- ◎ 「今年の1番の思い出の日記」について一般動詞の過去形を用いて、表現している。[知識・技能]

評価基準

評価A (十分満足できる)	評価B (満足できる)	評価Bに達していない子どもへの支援
「今年の1番の思い出の日記」について一般動詞の過去形を用いて、表現している。思い出について4文、感じたことについて1文以上書くことができる。	「今年の1番の思い出の日記」について一般動詞の過去形を用いて、表現している。	教師のモデル文や教科書本文の振り返り、文の訂正や英文の読み方の確認等もしていく。グループ内でも作成や発表に向けて助け合いながら行えるように促す。

子どもに示す評価基準

S	A	B	C
<p>発表</p> <p>① Voice 声の大きさ 相手にわかりやすいように間や抑揚をつけてはっきりと、非常によく聞こえる。</p> <p>② Fluency 流暢さ つまることはなく、原稿をほとんど見ずに流暢に伝えることができる。</p> <p>③ Attitude : 態度 目線を合わせて感情がよく伝わるように効果的に身振り手振りを入れ工夫している。</p>	<p>発表</p> <p>① Voice 声の大きさ 部分的に間や抑揚をつけてはっきりとよく聞こえる。</p> <p>② Fluency 流暢さ つまることはなく、流暢に伝えることができる。</p> <p>③ Attitude : 態度 目線を合わせて感情がよく伝わるように身振り手振りを入れている。</p>	<p>発表</p> <p>① Voice 声の大きさ はっきりしていて、よく聞こえる。</p> <p>② Fluency 流暢さ つまるどころが時々あるが伝えることができる。</p> <p>③ Attitude : 態度 ところどころ目線を落としながら発表をしている。</p>	<p>発表</p> <p>① Voice 声の大きさ 聞き取りにくく工夫がない。</p> <p>② Fluency 流暢さ つまるどころがあり教師のサポートが必要である。</p> <p>③ Attitude : 態度 目線を落としてうつむきながら発表している。</p>
<p>文章</p> <p>① 内容 情報量が多く、思い出について、5文以上、感じたことについて1文以上含み内容がまとまっている。また聞き手が興味をもてるように工夫ができている。</p> <p>② 語数 45～50 語以上書いている。</p>	<p>文章</p> <p>① 内容 情報量もあり思い出について、4文。感じたことについて1文含まれている。内容がまとまっている。聞き手が興味を持てるように工夫が見られる。</p> <p>② 語数 35～40 語以上書いている。</p>	<p>文章</p> <p>① 内容 思い出について、3文、感じたことについて1文含まれている。</p> <p>② 語数 25～30 語程度書いている。</p>	<p>文章</p> <p>① 内容 思い出について3文以下。感じたことについて含まれていない。</p> <p>② 語数 20 語以下で書いている。</p>

(3) 本時の学習過程

個：1人で P：ペアで G：グループで C：クラスで

時間	○学習内容・学習活動	形態	予想される子どもの反応	●指導上の留意点 ◎評価規準（評価方法）
10分 導入	Warm Up ○ Greetings ○ Reflection Sheet を記入し、今日の課題への個人目標を決める。	C 個	・ 過去形を使って英文を書く。など	● 英語の授業の雰囲気を作る。
	めあて：今年1番の思い出について出来事や感想をまとめ、発表に向けての英文を作成しよう。			
	○ Check of words 過去形・不規則動詞の単語をフラッシュする。	C	・ meet → met ・ take → took	● テンポ良く提示し、テンポに合わせてながら発音できているか確認しながら行う。
35分 展開	○ パフォーマンステストに向けてループリックを確認する。 ○ 教師のモデル文の発表を聞く。	C		● 作成前に提示済みであるが、再度確認して、目標をもって活動に取り組めるようにする。 ● 相手に伝わりやすくするためにどう表現すればいいか意識させる。
	活用してほしい知識・技能・キーワード ・ be 動詞の過去形と一般動詞の過去形の使い分け ・ ループリックの活用			
	○ 「今年の一歩の思い出の日記」の英文を書く。	個	・ This year, I went on a school trip. I cooked curry and rice for the first time with my classmates. I cut vegetables. I couldn't cut them well, but I enjoyed cooking. It was fun. It was a good memory. など	● スローラーナへはどんなことを書きたいのか聞きながらサポートする。 ◎ 「今年の一歩の思い出の日記」について一般動詞の過去形を用いて、表現している。〈知識・技能〉（ワークシートの記述）
5分 まとめ	○ Refection Sheet 本時のまとめ・ふりかえりを記入し、個人目標の達成度・できたこと・パフォーマンステストに向けて頑張ることを書く。	個	・ 過去形を使って書くことができた。 ・ パフォーマンステストに向けて発表練習していきたい。など	● 次のグループ発表につなげるために、ふりかえりを行うように促す。